

学 年

低・中

歌詞の鑑賞文を書こう (④かたつむり ステップ1)

年 組 氏名

かたつむり

でんでんむしむし かたつむり

おまえのあたまは どこにある

つのだせやりだせ、あたまだせ

でんでんむしむし かたつむり

おまえのめだまは どこにある

つのだせやりだせ、めだまだせ

「かたつむり」の歌詞を声にだして読みましょう。
読み終わったなら、下のらんにていねいにうつつして書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

学 年

低・中

歌詞の鑑賞文を書こう (④かたつむり ステップ2)

年 組 氏名

かたつむり

1でんでんむしむし かたつむり

おまえのあたまは どこにある

つのだせやりだせ あたまだせ

2でんでんむしむし かたつむり

おまえのめだまは どこにある

つのだせやりだせ めだまだせ

「かたつむり」の歌の歌詞を、なんども声にだして読みましょう。

また、かんしょう文(よんできづいたこと、かんじたこと、よいとおもったことなど)を書きましよう。

- ・1ばんと、2ばんの歌詞をくらべてみよう。同じところはどこかな？ちがうところはどこかな？
- ・一行の歌詞は、いくつの文字といくつの文字の組み合わせになっているかな？

--	--	--	--	--	--	--

学 年

低・中

歌詞の鑑賞文を書こう (④かたつむり ステップ2)

年 組 氏名

かたつむり

1でんでんむしむし かたつむり

おまえのあたまは どこにある

つのだせやりだせ あたまだせ

2でんでんむしむし かたつむり

おまえのめだまは どこにある

つのだせやりだせ めだまだせ

「かたつむり」の歌の歌詞を、なんども声にだして読みましょう。

また、かんしよう文(よんできづいたこと、かんじたこと、よいとおもったことなど)を書きましよう。

「かたつむり かんしよう文のヒント」

○だめいは「かたつむり」ですが、かしでは「でんでんむし」ともよんでいます。

○どの行も、八音と五音のくみあわせになっています。

○一ばんの「あたま」、二ばんの「めだま」いがいは、ぜんぶ同じかします。

そのほか

・かたつむりのようすをそうぞうしながら、かんしよう文を書いてみましょう。

「かたつむり」は、一年生でならうきよくです。

このワークシートでかいたことをおもいうかべながら、読んだり歌ったりしてみましょう。



学 年
中

歌詞の鑑賞文を書こう (⑤うさぎ ステップ1)

年 組 氏名

うさぎ わらべうた

うさぎ

うさぎ

なに見てはねる

じゅうごやおつきさん

みてはねる

「うさぎ」の歌詞を声に出して読みましょう。

読みおわたたら、下のらんにていねいにうつつて書きましよう。

学 年
中

歌詞の鑑賞文を書こう (⑤うさぎ ステップ2)

年 組 氏名

うさぎ わらべうた

うさぎ うさぎ

なに見てはねる

じゅうごやおつきさん

みてはねる

「うさぎ」の歌の歌詞を、何度も声に出して読みましょう。

また、かんじょう文（よんで気づいたこと、かんじたこと、よいと思ったことなど）を書きましょう。

- ・どんなことばがくりかえされているかな。
- ・うさぎが、はねているのはなぜ？

--	--	--	--	--	--	--	--

学 年
中

歌詞の鑑賞文を書こう (⑤うさぎ ステップ2)

年 組 氏名

うさぎ わらべうた

うさぎ うさぎ

なに見てはねる

じゅうごやおつきさま

みてはねる

「うさぎ」の歌の歌詞を、何度も声に出して読みましょう。

また、かんじょう文（よんで気づいたこと、かんじたこと、よいと思ったことなど）を書きましよう。

「うさぎ かんじょう文の一例」

○一行目に、題名と同じ「うさぎ」という言葉が二回くりかえされています。

○二行目と四行目に「みてはねる」という言葉がくりかえされています。

そのほか

・十五夜の月の様子や、それをみてはねるうさぎの様子を想像しながら、かんじょう文を書いてみましょう。

「うさぎ」は、三年生で習う曲です。音楽の授業では、このワークシートで書いたことを思い浮かべながら歌いましょう。



学 年
中

歌詞の鑑賞文を書こう (⑥春の小川 ステップ1)

年 組 氏名

春の小川 作詞 高野辰之

1 春の小川は さらさら行くよ

岸のすみれや れんげの花に

すがたやさしく 色うつくしく

さけよさけよと ささやきながら

2 春の小川は さらさら行くよ

えびやめだかや こぶなのむれに

今日も一日 ひなたでおよぎ

遊べ遊べと ささやきながら

「春の小川」の歌詞を声に出して読みましょう。
読みおわったら、下のらんにていねいにうつして書きましょう。

学 年
中

歌詞の鑑賞文を書こう (⑥春の小川 ステップ2)

年 組 氏名

春の小川 作詞 高野辰之

1 春の小川は さらさら行くよ

岸のすみれや れんげの花に

すがたやさしく 色うつくしく

さけよ咲けよと ささやきながら

2 春の小川は さらさら行くよ

えびやめだかや こぶなのむれに

今日も一日 ひなたでおよぎ

遊べ遊べと ささやきながら

「春の小川」の歌の歌詞を、何度も声に出して読みましょう。

また、かんじょう文(よんで気づいたこと、かんじたこと、よいと思ったことなど)を書きましよう。

「春の小川 かんじょう文のヒント」

○どの行も、七音と七音の組み合わせになっています。

○一行目の歌詞は、一番、二番の両方ともでくりかえされています。

○一番では、小川が、まわりにさく花に話しかけているようにえがか

れています。二番では、小川が、川の中の生き物に話しかけているよう

にえがかれています。

そのほか

・春のきせつや小川のようすや周りのけしきを想像しながら、

かんじょう文を書いてみましょう。

「春の小川」は、三年生で習う曲です。音楽の授業では、このワークシートで書いたことを思いうかべながら、歌ってみましよう。

